

口腔分子病態学

Oral Molecular Pathology

2単位 (選択) 1年 (前期), 2年 (前期)

石丸直澄・准教授 / 口腔科学専攻 口腔健康科学講座

【授業目的】 口腔領域の難治性自己免疫疾患 (シェーグレン症候群, ベーチェット病など), 老化に伴う免疫不全・唾液分泌障害などの病因・病態について総合的に理解する.

【授業概要】 口腔領域の難治性自己免疫疾患 (シェーグレン症候群, ベーチェット病など), 老化に伴う免疫不全・唾液分泌障害などの病因・病態・治療法の開発について体系的な講義を行う. また, 自己免疫疾患における性差の分子機構, および老化の分子機構に関する最新の知見について体系的に解説する.

【履修上の注意】 特になし

【授業計画】

- 1~4. 自己免疫疾患の病態および病因 (担当者: 林 良夫)
- 5~8. 老化に伴う免疫不全の分子機構 (担当者: 林 良夫)
- 9~14. 自己免疫疾患における性差の分子機構 (担当者: 石丸 直澄)
15. 総括 (担当者: 林 良夫)

【成績評価】 その都度理解度をチェック・レポート提出

【再試験】 行う.

【授業コンテンツ】 <http://cms.db.tokushima-u.ac.jp/cgi-bin/toURL?EID=217415>

【連絡先】

⇒ 石丸 (ishimaru@dent.tokushima-u.ac.jp) MAIL

【備考】 特になし.